

宮崎議員（自民議連）

令和4年12月14日

教育長 答 弁 実 録

（教育委員会）

（問）公立高等学校における県と基礎的自治体の役割分担について

高校の再編整備は、関係者の理解を得ることや施設整備等に相当な時間がかかるため、早めに議論を進めていく必要がある。また、再編整備を進めるに当たっては、県と市の役割分担の在り方を踏まえ、県立高校だけではなく、基礎的自治体が持つ高校の再編整備、つまり公立高等学校の再編という大きな視点で検討する必要があると考えるが、教育長の所見を伺う。

（答）

県立高等学校につきましては、高等学校教育の機会均等の確保と質的水準の維持向上の観点から、私立、市立及び国立高等学校の配置状況を考慮しつつ、県内各地域にバランスよく配置するなど、全県的な視野に立って、教育を提供することが求められているものと認識しております。

また、今後、ますます児童生徒数の減少が見込まれる中におきましても、地域のニーズや生徒・保護者の希望等に応えることができる学校、課程及び学科等を私立、市立及び国立高等学校と協力・補完しながら、適正に配置する必要があると考えております。

中でも、市立高等学校につきましては、設置市におかれまして、市民の皆様のニーズや期待に応え、社会の発展に寄与する有為な人材を輩出するといった設置の背景をお持ちであると認識しております。

こうしたことから、「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」の「次期計画」の検討に当たりましては、設置市における市立高等学校を取り巻く事情があることも想定されることから、積極的に情報交換等の場を設けるなど、関係市教育委員会と緊密な連携を図ってまいりたいと考えております。